



札幌市立澄川中学校 学校だより

郷音

令和8年（2026年）3月25日

第14号最終号

<https://www.sumikawa-j.sapporo-c.ed.jp/>

第54回卒業証書授与式が終わりました



卒業式前日の12日（木）は、「お別れセレモニー」を行いました。在校生からはスライドとお祝いのメッセージや合唱を披露し、卒業生はモザイクアートの披露と「旅立ちの日に」を心を込めて合唱しました。13日（金）の第54回卒業証書授与式では、吹奏楽部の演奏で入場してきた3年生を、2年生が温かく拍手で迎えました。校長先生から力強く卒業証書を受け取りステージから降りてくる姿は、大変立派でした。卒業生にとって澄川中学校での3年間は、今後の人生の支えとなることを願っています。

令和7年度 修了式の言葉

校長 柏原 知之

3月20日は春分の日でした。この日を境に、徐々に昼の時間が長くなり、季節も冬から春へと移り変わっていきます。そして、今日、令和8年3月25日は修了式ということで、皆さんは令和7年度札幌市立澄川中学校における教育課程を終え、本日をもって、上級学年への進級が認められたこととなります。進級おめでとうございます。さて、先日の卒業式では、202名の3年生が立派に巣立っていきました。残念ながら1年生の皆さんは出席できませんでしたが、式の中で、在校生と卒業生、それぞれの代表生徒が話してくれた言葉の一部を紹介します。

在校生代表の生徒は、3年生への感謝の言葉をこんなふうに述べていました。「3年生の皆さんは、責任を果たすことの大切さや、最後までやり抜くことの尊さを教えてくれました。皆さんが築き上げてこられた澄川中学校の伝統と校風は、これからの私たちの道しるべです。これからは、私たち在校生がその思いを受け継ぎ、バトンをつないでいきます。」

一方、卒業生代表の生徒は、在校生に対して、こんなメッセージを送ってくれました。「一緒に活動してきた後輩の皆さん。私たちを慕ってくれてありがとう。中学校3年間はあっという間です。今いる仲間と、たくさん素敵な思い出を作ってください。これからの澄川中学校での生活がより豊かになるよう、応援しています。」今日、修了式の日、既に、3年生から1・2年生の皆さんへのバトンは渡されています。これからは、皆さんが澄川中学校を創っていきます。先輩が後輩に託していった思いを受け継いで、新たな一歩を踏み出してほしいと思います。今日は、もう一つ、皆さんにお話ししたいことがあります。

先日、パートナー校の小学校の校長先生、地域やPTAの方々为学校に集まる会議がありました。その会議には本校の生徒会役員3名と、パートナー校の3つの小学校の5年生がオンラインで参加して、「澄川に住んでいる人たちと協力してやってみたいこと」について、意見交流を行いました。去年の夏休み前に行ったアンケート、覚えていますか？そこで皆さんから得られた回答をもとにして行われた意見交流会です。「お祭り」や「ゴミ拾い」「あいさつ」「スタンプラリー」など、様々な意見が出ていましたが、その会議に参加した方々はメモをとりながら、児童・生徒の意見を真剣に聞き、意見に対する感想を述べていました。すでに小学校と連携している「あいさつ運動」も含めて、この澄川地区がもっと魅力的な地域になるためには、小中学生のアイデアと協力が欠かせないと、参加した皆さんがおっしゃっていました。来年からは、ぜひ、中学生の皆さんが中心となって魅力ある町づくりを進めていってほしいと思います。明日から春休みが始まります。まずは、この1年間で学んだことをしっかりと振り返り、自分が頑張ったことや頑張りが足りなかったことを整理してみてください。その上で令和8年度の目標を設定してください。目標があつてこそ、結果が得られます。充実した1年のスタートに向けて、実りある春休みにしましょう。

お世話になりました…本校を離任する教職員より

今年度は8名の教職員の方とお別れすることとなりました。保護者の皆様には、様々な場面でお力添えをいただき、心より深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

柏原 知之 校長（上野幌中学校へ）

昨年4月に校長として着任して以来、保護者の皆様や地域の皆様には大変お世話になりました。着任以前は、私にとってこの澄川中学校は「澄川の丘」の上に校舎が見えるだけの学校でしたが、気付いたら日々の生活になくはならない存在となっていました。4月からはこの澄川中学校で過ごした日々を思い出しながら、新天地で頑張りたいと思います。皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

川本 晃資 教諭（国語科 新川中学校へ）

3年間、お世話になりました。何事にも素直に、努力できることや、挨拶を元気よくしてくれるところが本当に素敵でした。そして、僕は皆さんの姿に元気をもらい続けました。本当に感謝しています。

これからも成長を続けて、素敵な大人になってほしいと思います。今まで本当にありがとうございました。

金澤 敦 教諭（社会科 陵北中学校へ）

3年間お世話になりました。何事にも意欲的に取り組む生徒の皆さんに助けられていました。

私自身は「学校だからできる楽しさ」をこれからも追求していきたいと考えています。

「挨拶の澄中」とこれからも誇れる学校であること皆さんのご健康とご多幸を祈念します。

今まで本当にありがとうございました。

北川 孝博 教諭（社会科 弘前南高等学校へ）

1年間という短い時間でしたが、大変お世話になりました。委員会や係活動、クラス全体が一丸となって様々な学校行事に向けて取り組む姿勢は本当に立派です。礼儀正しく、元気に挨拶ができる清々しさに澄川中の伝統を強く感じました。お子様のさらなるご発展を祈念いたします。

長澤 裕一 教諭（数学科 退職）

13日に卒業生を見送り、自身も40数年の中学校教員を終えることになりました。卒業生にとっての最後の〇〇が、自身にとってもそうであるというシンパシーを抱きながらの2年間でした。明るく、前向きに頑張る生徒たちにエネルギーをもらいながら、勤め上げることができました。ありがとうございました。

櫻井 夢可 教諭（保健体育科 平岸中学校へ）

授業や部活動、委員会など様々な場面で子どもたちと関わることができて、とても楽しい日々でした。友達との出会いや学びを大切に、これからも心身ともに大きく成長していくことを願っています。ありがとうございました。

齊藤 紘子 教諭（英語科 北陽中学校へ）

2回の卒業生を送ることができました。それぞれ思い出深く、最後の3年間は生徒の皆さんと一緒にたくさんのことにチャレンジすることができました。

澄川中生の素直さがとっても好きです。勉強はもちろん行事や部活動も頑張ってください。

今までありがとうございました。

山田 久美子 さん（校務助手 中の島中へ）

3年間お世話になりました。初めての中学校でのお仕事で、年度当初は大変不安だったのですが、皆様の温かい励ましのおかげで、この日を迎えることができ、感謝しております。

今までありがとうございました。



本校の安田光佑教諭が令和8年度札幌市立学校教員国立大学法人教職大学院研修派遣候補者として、決定しました。派遣期間は2年間です。